

鴨居地区別計画推進策定委員会通信

地域のチョット手助けボランティア



鴨居チョイボラ

平成31年4月～本格始動！



令和元年7月9日(火)19時から、鴨居会館で「令和元年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

委員会では、『鴨居チョイボラ』の本格始動に向けて進捗状況を共有するとともに、サポート項目の拡大等について意見交換が行われました。

鴨居チョイボラとは///

高齢化が進行する昨今、「業者に頼むほどではないし、かといって無償では頼みにくい」、そんな方々を住民相互で助けあう仕組みです。地域のつながりを大切に、住みやすい鴨居にしていきます。

【対象】高齢者・支援を必要とする方



サポート項目

これまでは…

1. 庭の草むしり
2. 庭木の枝切り
3. 電球交換

これからは…

+ その他、お困りごとについてもサポートできるよう検討します。

サポーターは専用のビブスと写真付きの名札をつけて活動します。

まずはお気軽にご相談ください。

料金 依頼者がサポーターに払う料金

基本単価：サポーター1人1時間あたり500円

依頼方法

依頼者が鴨居会館に電話連絡



活動の様子(イメージ)

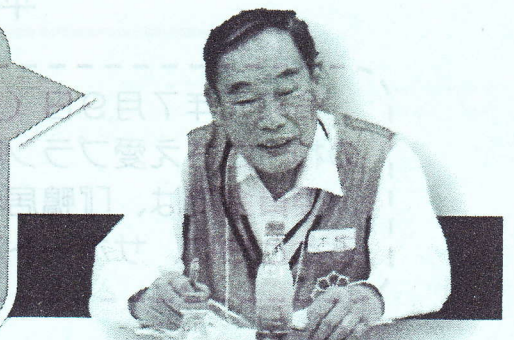
委員会の内容の一部をご紹介します。



- 全戸配布したマグネットステッカーの効果があり、4月以降は依頼が大幅に増えている。
- これまでは試行導入ということで「庭の草むしり、庭木の枝切り、電球交換」に限っていたが、本格始動したので項目を増やしていきたい（例：家具の移動、庭木の水やり等）。
- 幅広い依頼を受けるにあたっては、受付で「これはできない」と断るのではなく、いったん受けて、コーディネーターが可否を判断できるとよい。そのためにはコーディネーターの勉強が必要。 ▲マグネットステッカー
- 実際に依頼者のお宅にお邪魔して話を聞くと、親睦も深まる。そこで出来上がる人間関係がボランティアの魅力だ。相手が困っているからこそ助け甲斐があり、感謝もしてもらえる。



- 「鴨居チョイボラ」の取組を真似したい、という地域も出てきた。
- こういう時はどうしたらよいか、という議論もあったが「みんなで相談しよう」というのが答えだと思う。



▲木村委員長

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは

誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取組む緑区の『地域福祉保健計画』です。鴨居地区は、鴨居地区の地区別計画にそって活動しています。令和元年度は第3期計画の4年目を迎えています。詳しくは下記HP等からご覧ください。

鴨居地区別計画の目標（第3期：平成28年4月～令和2年3月）

- 目標1 『安全・安心・健康』のまちづくりのために
- 目標2 地域での『つながり』を大切にし、地域における後継者を育成するために

動画も
あります♪



ホームページ

みどりのわ・ささえ愛プラン 動画

検索



https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kurashi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/

<鴨居地区別計画推進策定委員メンバー>

委員会は下記各団体等の代表者・役員で構成しています。（順不同）（委員22名）

- ◎委員長 鴨居連合自治会長 木村 昶
- 連合自治会 ●各自治会 ●会館運営委員 ●民生児童委員 ●青少年指導員
- スポーツ推進委員 ●鴨居小学校PTA ●東鴨居中学校PTA ●鴨居おやじの会

<連絡先> 鴨居地区別計画推進策定委員会事務局 緑区戸籍課長 TEL: 930-2246